

AXIS Camera Station Pro

AXIS Camera Station Proへの移行

ほとんどの場合、AXIS Camera Station 5からAXIS Camera Station Proへのアップグレードは簡単です。ただし、以下の点に注意してください。

- My Axisのユーザーアカウントが必要です。また、既存の組織を選択するか、新しい組織を作成するよう求められます。
- 当社は、AXIS Camera Station 5システムに登録されているライセンスを、対応するAXIS Camera Station Proライセンスに変換します。AXIS Camera Station Proの発売後、期間限定でこのサービスが無償で提供します。
 - AXIS Sシリーズネットワークビデオレコーダーに含まれるライセンスと、追加登録されたすべてのライセンスを、ネットワークビデオレコーダーのハードウェアに紐づけられたライフタイムライセンスに変換します。
 - 他のハードウェアや仮想マシンに登録されているライセンスを5年サブスクリプションライセンスに変換します。
 - 詳細については、を参照してください。
- 当社は、AXIS Camera Station Proサーバーで使用されているデフォルトのポート番号を変更しました。以下をお持ちの場合は、システムに影響することがあります。
 - リモートサーバーにアクセスするクライアント。
 - ネットワークファイアウォールで設定済みのリモートアクセスポート。
 - 手動で選択したポート。
 - Axis装着式システムでのインストール。
 - POSシステムやアラーム中央拠点などの他のシステムとの統合。
 - Secure Entry用に設定されたマルチサーバー。

最も重要な情報は上記のとおりです。アップグレードに関する詳細については、以下のセクションを参照してください。

AXIS Camera Station Proをぜひご利用ください!

AxisのACSチーム

ライセンス

ライセンス供与の際に、AXIS Camera Station Proはシステムを組織に登録するよう求めます。新しい組織を作成することも、既存の組織を選択することも可能です。組織は、ガバナンスと管理を容易にするために、すべてのシステムインストールを1つの名前にまとめたエンティティです。

注

- オンラインライセンスを使用している場合、当社はシステムのアップグレードと登録時にAXIS Camera Station 5のライセンスを変換します。ライセンスがAXIS Camera Station Proライセンスに変換されると、そのライセンスはブロックされ、AXIS Camera Station 5システムでは使用できなくなります。
- オフラインライセンスを使用している場合、AXIS Camera Stationの管理者であっても、ライセンスは自動的に移行されません。AXIS Camera Station License Portalと同じMy AxisアカウントでLicense Managerにサインインする必要があります。AXIS Camera Station License Portalでライセンスを登録するには、My Axisアカウントが必要です。
- AXIS License Managerで、未使用のAXIS Camera Station 5ライセンスキーをAXIS Camera Station Proの5年ライセンスまたはExpansionライセンスに変換できます。

詳細については、を参照してください。

Axisネットワークビデオレコーダー上でのライセンス

当社は、AxisネットワークビデオレコーダーにインストールされたすべてのAXIS Camera Station 5を、AXIS Camera Station Pro用のハードウェアに紐づけられたライフタイムライセンスに変換します。これは、以下のネットワークビデオレコーダーに適用されます:

- AXIS S11シリーズ
- AXIS S12シリーズ
- AXIS S21 Series
- AXIS S22シリーズ

また、当社はお客様のシステムに登録されている追加のライセンスを、AXIS Camera Station Pro用のハードウェアに紐づけられたライフタイムネットワークビデオレコーダーライセンスに変換します。

サードパーティサーバー上でのライセンス

当社は、購入されたすべてのライセンスを、対応する5年のサブスクリプションライセンスに変換します。

AXIS Camera Station Proの新しいポート範囲

当社は、AXIS Camera Station Proのポート範囲を変更しました。つまり、AXIS Camera Station Proにアップグレードすると、ベースポートは29200になります。手動で設定したポートは維持されますが、デフォルトのポートは新しい範囲に更新されます。サードパーティとの統合を再設定する必要があります。

詳細については、AXIS Camera Stationユーザーマニュアルの「ポートリスト」を参照してください。

重要

変更されたポート範囲は、以下に影響する場合があります。

- Axis装着式システムとAXIS Camera Station Proの接続。を参照してください。
- サードパーティとの統合。
- 外部HTTPSトリガー。デフォルトのポート設定をオーバーライドしない限り、更新されたポートを使用するように外部HTTPSトリガーを手動で更新する必要があります。
- AXIS Camera Station 5.xxからアップグレードし、デフォルトのポートでSecure EntryのMulti-Serverを使用している場合、接続されているすべてのサブサーバーで新しいデフォルトポート29215に変更して機能を再開する必要があります。

Axis装着式システムの統合

重要

Axis装着式システムを統合した場合は、証明書を更新し、更新したポートで新しい接続ファイルを適用する必要があります。新しい接続ファイルを適用すると、装着式システムはAXIS Camera Station Proサーバーへの接続を再確立できます。新しい接続をテストして、装着式システムがAXIS Camera Station Proに録画を転送できるかを確認することをお勧めします。

*how to renew certificates in the AXIS Camera Station Pro*ユーザーマニュアルの証明書を更新する方法をお読みください。

AXIS Camera Station 5からアップグレードする

AXIS Camera StationサーバーがないコンピューターにAXIS Camera Station 5クライアントがある場合は、クライアントを手動でアップグレードする必要があります。クライアント専用の.msiファイルをダウンロードしてインストールします。

注

AXIS Camera Station 5クライアントとAXIS Camera Station Proサーバーインストールを同時に実行することはできません。クライアントとサーバーの両方をアップグレードする必要があります。

サーバー上のAXIS Camera Stationのバージョンが5.24より前の場合、データベースの変更に伴い、まずAXIS Camera Stationをaxis.comにあるバージョンにアップグレードする必要があります。5.24のインストールから、AXIS Camera Station Proにアップグレードすることができます。過去数年間の多くの変更により、アップグレードに時間がかかる場合があります。

システムとハードウェアの要件

インストーラーは、64ビットのシステムまたはオペレーティングシステムでのみ実行できます。16GBのRAMを推奨します。RAMの最小要件は8GBです。すべての要件については、最新のリリースノート およびをご覧ください。

モバイルアプリ

AXIS Camera Station Proにアップグレードする場合は、モバイルアプリも最新バージョンに更新してください。

マルチサーバーシステム

システムに多数のサーバーがある場合は、サーバーの場所を簡単に理解するために、サーバー名を指定してください。

オプションのクラウド接続サービス

AXIS Camera Station Proは独立したプライベートネットワークにインストールできますが、クラウドサービスに接続するオプションもあります。

クラウド接続サービスを利用するには、My Axisアカウントと組織へのサーバー登録が必要です。

以前にAXIS Device Manager Extendを使用したことがある場合、システムが「部分的に」しか登録されていないというメッセージが表示されることがあります。その場合は、再試行リンクをクリックしてエッジホストを更新してください。

組織

AXIS Camera Station Proを登録する際に、組織を作成する必要があります。組織は、Axisのインストールを管理しやすくするためのものです。組織の詳細については、およびMy Systemsユーザーマニュアルをお読みください。

My Systems

My Systemsから、以下に示す接続されたサービスにアクセスできます。

- サーバー監視
- ユーザー管理
- ライセンス管理
- 装置管理
- ビデオ操作

注

AXIS Camera Station ProサーバーとMy Systemsのユーザー管理は別々です。AXIS Camera Station Proでは、ユーザー管理がサーバー上でローカルに、またはActive Directoryを通じて可能です。一方、My Systemsは、ユーザー管理のためにActive Directoryに接続しない独立したク

クラウドソリューションです。AXIS Camera Station Proサーバーにユーザーが存在する場合でも、My Systemsですべてのユーザーを作成する必要があります。

AXIS Data Insights Dashboard

AXIS Data Insights Dashboardは、AXIS Camera Station Proにバンドルされてインストールされますが、デフォルトでは有効になっていません。ダッシュボードを有効にする方法については、*AXIS Camera Station Pro*ユーザーマニュアルの「*AXIS Data Insights Dashboard*」をお読みください。

注

AXIS Data Insights Dashboardはオンの場合、より多くのメモリーを使用します。詳細については、を参照してください。

AXIS Camera Station Proの追加機能

AXIS Camera Station Proの変更点と新機能の詳細については、リリースノートと「*AXIS Camera Station Pro*の新機能」をお読みください。

AXIS Camera Station Proをインストール

インストールする前に

AXIS Camera Station Proにアップグレードする前に、以下をよくお読みください。

- 最新のリリースの詳細については、リリースノートをお読みください。
- AXIS Camera Station Proにアップグレードする前、またはAXIS Camera Station Proをインストールする前に、Windowsファイアウォール以外のファイアウォールを使用している場合、またはカスタムポート設定を使用している場合は、正しいポート設定を使用していることを確認してください。ポート設定は [Service Control (サービスコントロール)] で確認できます。詳細については、ユーザーマニュアルの「ポートリスト」をお読みください。
- AXIS Camera Station Proからのダウングレードはサポートしていません。
- 現在のサーバーに登録されているすべてのAXIS Camera Station 5ライセンスは、アップグレード中にAXIS Camera Station Proライセンスに変換されます。変換は元に戻せません。
- 2つの異なるインストールファイルがあります。メインファイルにはサーバーとクライアントの両方のソフトウェアが含まれおり、メインサーバーのインストールに使用します。オペレーターワークステーションにのみクライアントをインストールする場合は、クライアント専用ファイルを使用してください。
- 要件とシステム設計に関するアドバイスについては、をお読みください。
- 完全な (クライアントおよびサーバーを含む) インストールには、Microsoft Visual C++ 2015-2022 Redistributable (x86 および x64) が必要です。サイレントまたはパッシブで実行する場合は、事前に手動でインストールしておく必要があります。サポートされている最新のダウンロードは、learn.microsoft.com で確認できます。

組織とクラウドに接続されたサービス

クラウドサーバーの健全性監視、ビデオ運用のためのクラウドWebクライアント、装置とクラウドのユーザー管理、自動オンラインライセンスなど、当社のクラウド接続サービスを利用したい場合は、顧客のシステムを組織に登録する必要があります。以下の注意が必要です。

- 組織における役割は、クラウド接続サービスのユーザーに割り当てる権限を決定するもので、AXIS Camera Station Proサーバーにおけるユーザーや役割とは別のものです。つまり、Windowsクライアントを使用してAXIS Camera Station Proサーバーにアクセスするときと、クラウドWebクライアントを使用するときで、異なるユーザーと権限を持つことができます。
- 組織内のクラウドの役割に対する権限は、あらかじめ定義されており、設定することはできません。
- クラウド接続サービスの場合、ユーザーアクセス権はグローバルレベルで設定されます。たとえば、ある組織でオペレーターアクセス権を持つユーザーは、その組織内に登録されているすべてのシステムに対してもオペレーターアクセス権を持ちます。
- サブスクリプションライセンスは組織に紐づけられ、組織間でライセンスを移動できません。
- AXIS Sシリーズサーバーに紐づけられている耐用期間ライセンスはサーバーに従います。
- ある組織から別の組織にシステムを簡単に移動することはできません。
- 組織がフラットであるということは、すべてのシステムが組織の下で同じレベルにあることを意味します。
- 既存の組織にサーバーを登録するには、その組織の管理者である必要があります。
- 組織のユーザーに役割を付与するには、管理者または所有者である必要があります。
- AXIS Device Manager Extendを使用していて、サーバーを既存の組織に接続する場合は、AXIS Camera Station ProがAXIS Device Manager Extendの以前の設定をすべて上書きすることにご注意ください。

詳細については、My Systemsユーザーマニュアルをお読みください。

設置

AXIS Camera Station Proをダウンロードする際に、以下に示すインストーラーのいずれかを選択できます。

- ・ サーバーとクライアントのフルインストール用のmsiファイル。
- ・ クライアントインストール専用のmsiファイル。

注

- ・ AXIS Camera Station Proをインストールするコンピューターに対して完全な管理者権限を持っていることを確認してください。
 - ・ AXIS Camera Station Proを新しいバージョンにアップグレードすると、アップグレード中はバックグラウンドサービスが停止し、録画が行われません。アップグレード後、バックグラウンドサービスが再開されます。
1. <https://www.axis.com/products/axis-camera-station-pro/>に移動し、お使いのMyAxisアカウントでサインインしてAXIS Camera Station Proの最新バージョンに必要なインストーラーをダウンロードします。
 2. ダウンロードしたファイルをダブルクリックし、[Yes (はい)] をクリックして装置の変更を許可します。
 3. 設定アシスタントの画面に表示される手順に従います。

導入シナリオ

およびに示す重要な情報に加えて、ここでは、典型的なインストールシナリオとその管理方法の例をいくつか紹介します。これらの例ではすべて、顧客がシステムを当社のクラウドサービスに接続したいと考えていることを想定しています。

エンドカスタマーとしてAXIS Camera Station Proにアップグレードする - 例1

状況の例

私は自分でAXIS Camera Station Proにアップグレードしたいと考えているエンドカスタマーです。これまでクラウドサービスを接続したことはなく、組織やMy Axisアカウントもありません。

アップグレードするには:

1. www.axis.comでMy Axisアカウントを作成します。
2. AXIS Camera Station Proをインストールします (を参照してください)。
3. AXIS Camera Station Pro Windowsクライアントを開き、画面の指示に従ってサーバーのライセンス認証と組織への登録を行います。

エンドカスタマーとしてAXIS Camera Station Proにアップグレードする - 例2

状況の例

私はAXIS Camera Station Proへのアップグレードを希望しているエンドカスタマーです。また、セキュアリモートアクセス、クラウドサーバー監視などのクラウドサービスをすでに利用しているか、既存のMy AxisアカウントでCompanionサイトを登録しています。

重要

- ・ サーバーを組織に登録するときは、正しい組織を選択するか、新しい組織を作成してください。
- ・ あなたが接続先の組織の所有者であることを確認するか、あなたが所有者である新しい組織を作成してください。ただし、ACS Proサブスクリプションライセンスは、既存の組織にリンクされると移管できないことを忘れないでください。

アップグレードするには:

1. AXIS Camera Station Proをインストールします (を参照してください)。
2. AXIS Camera Station Pro Windowsクライアントを開き、画面の指示に従ってサーバーのライセンス認証と組織への登録を行います。

注

複数の組織がある場合は、システムの登録時に適切な組織を選択してください。

システムインテグレーターとしてサーバーをインストールする - 例1

状況の例

私はシステムインテグレーターで、クラウドサービスや組織、My Axisアカウントに接続していない顧客のためにサーバーをインストールしています。

重要

- システムインテグレーターとして自分の組織にサーバーを登録した場合、後で顧客の組織にサーバーを簡単に移動することができません。
- システムインテグレーターとして、顧客の組織でサーバーのライセンスを引き当てた場合、後で顧客の組織にサーバーを移動することはできません。

アップグレードするには:

1. 顧客に組織の名前を聞いてください。
2. AXIS Camera Station Proをインストールします (を参照してください)。
3. AXIS Camera Station Pro Windowsクライアントを開き、画面の指示に従ってサーバーのライセンス認証と組織への登録を行います。システムインテグレーターは、登録プロセス中に組織を作成します。
4. 顧客にwww.axis.comでMy Axisアカウントを作成するように依頼します。
5. システムインテグレーターは組織の所有者として顧客を招待します。
6. 顧客は招待に同意し、システムインテグレーターから所有権を削除し、該当する場合は、システムインテグレーターのユーザーを組織から完全に削除します。

システムインテグレーターとしてサーバーをインストールする - 例2

状況の例

私はシステムインテグレーターで、既存の組織を使用したいという顧客のためにサーバーを設置しています。

重要

- システムインテグレーターとして自分の組織にサーバーを登録した場合、後で顧客の組織にサーバーを簡単に移動することができません。
- システムインテグレーターとして、顧客の組織でサーバーのライセンスを引き当てた場合、後で顧客の組織にサーバーを移動することはできません。
- アップグレードする前に、顧客の組織の所有権が必要です。

アップグレードするには:

1. 顧客は、システムインテグレーターを組織の所有者として招待します。
2. AXIS Camera Station Proをインストールします (を参照してください)。
3. AXIS Camera Station Pro Windowsクライアントを開き、画面の指示に従ってサーバーのライセンス認証と組織への登録を行います。システムインテグレーターは、登録プロセス中に組織を作成します。

注

複数の組織がある場合は、サーバーの登録時に適切な組織を選択してください。

4. 顧客はシステムインテグレーター的所有権を削除します。

新しいサーバーの追加 - 例1

状況の例

私はエンドカスタマーで、新しいサーバー (フォルダー) を組織に追加したいと考えています。

現在、当社は組織の下でフラットな構造をサポートしています。各フォルダーはサーバーを表します。組織の下にカスタムフォルダー構造を作成することはできません。複数のAXIS Camera Station Proサーバーがある場合は、1台ずつ登録する必要があり、別々のフォルダーとして表示されます。

重要

組織レベルではユーザーの役割のみを管理できます。組織内のユーザーの役割は、すべてのAxisクラウドアプリケーションに適用されます。つまり、AXIS Camera Stationアプリケーションの管理者は、他のすべてのクラウド接続アプリの管理者です。

新しいサーバーを組織に追加するには:

1. AXIS Camera Station Proをインストールします (を参照してください)。
2. AXIS Camera Station Pro Windowsクライアントを開き、画面の指示に従ってサーバーのライセンス認証と組織への登録を行います。登録プロセス中に、新しいサーバーを追加する組織を選択します。

サーバーの登録が完了すると、選択した組織内にフォルダーとして表示されます。

ハードウェアのガイドライン

このセクションでは、独自のAXIS Camera Station Proシステムを設計および設定するための専門知識を提供します。システムのコンピューター要件はさまざまな要因によって異なりますが、接続する装置の数と生成されるビットレートがハードウェア要件の主な決定要因です。

サーバー要件とクライアント要件では、さまざまなレベルのAXIS Camera Station Proシステム要件を説明している複数の表を見つけることができます。これらの表は、システムを設計するための優れた出発点となりますが、重要なトピックについてのより詳細な情報を提供している「システム設計およびメンテナンス」もあわせて読むことをお勧めします。

システムを設計する際は、システムのパフォーマンスを低下させる可能性のある不測の事態を予測し、計画することが不可欠です。バッファをシステム設計に組み込むことで、予期せぬイベントに直面しても、さらに高速で応答性の高い状態を維持することができます。さらに、将来を考慮し、システムの変更の可能性に備えることも重要です。フューチャープルーフィングは、不要なアップグレードを回避するのに役立ち、システムが将来にわたって適切かつ有用であることを保証します。

外部ハードウェアを使用してシステムを設計および構成することは、常にお客様の自由ですが、検討する良い選択肢にAxis ネットワークビデオレコーダーおよびワークステーションがあります。当社のハードウェアは、特定のニーズを満たすように設計されており、優れたユーザーエクスペリエンスと信頼性の高い録画ソリューションを提供するために、広範なテストで評価されています。すぐに使える録画ソリューションの詳細については、製品ページをチェックしてください。

サーバー要件

次の表に、物理サーバーのサーバー要件を示します。仮想マシンについては、仮想環境のAXIS Camera Stationについてのテクニカルペーパーを参照してください。

注

最小と書かれた表は、AXIS Camera Station Proを実行するための最小システム要件を示しています。最小要件のシステムは、スマート検索2のフリーテキスト検索機能に対応していません。より多くのシステムリソースを必要とする高度な機能を使用すると、最適なユーザーエクスペリエンスが得られない場合があります。詳細については、およびを参照してください。

最大128メガビット/秒の録画ビットレート、または8ビデオチャンネル、最大16枚のドア:

最小	
OS	Windows 10 Pro以降 ⁽¹⁾
CPU	Intel® Core i3 ^{7th} Gen /Intel® Elkhart Lake
メモリー	8 GB DDR4
OSドライブ	120GB SSD
ストレージドライブ	単一HDD
ネットワーク	NIC x1 @ 1 Gbps

最大128メガビット/秒の録画ビットレート、または8ビデオチャンネル、最大16枚のドア:

推奨	
OS	Windows 10 Pro以降 ⁽¹⁾
CPU	Intel® Core i3 ^{8th} Gen /Intel® Core i3 ^{9th} Gen
メモリー	16 GB DDR5
OSドライブ	256GB SSD

ストレージドライブ	単一HDD ⁽²⁾
ネットワーク	NIC x1 @ 1 Gbps

最大256メガビット/秒の録画ビットレート、または32ビデオチャンネル、最大64枚のドア:

推奨	
OS	Windows 10 Pro以降 ⁽¹⁾
CPU	Intel® Core i5 ^{8th Gen} / Intel® Core i3 ^{12th Gen}
メモリー	16 GB DDR5
OSドライブ	256GB SSD
ストレージドライブ	単一または複数のHDD ⁽²⁾
ネットワーク	NIC x1 @ 1 Gbps

最大512メガビット/秒の録画ビットレート、または64ビデオチャンネル、最大128枚のドア:

推奨	
OS	Windows 10 Pro以降 ⁽¹⁾
CPU	Intel® Xeon E ^{11th Gen} / Intel® Xeon Silver ^{2nd Gen Scalable}
メモリー	16 GB DDR5
OSドライブ	480 GB SSD
ストレージドライブ	HDD x4 RAID 5、6または10 ⁽²⁾
ネットワーク	NIC x2 @ 1 Gbps

最大1500メガビット/秒の録画ビットレート、または150ビデオチャンネル、最大400枚のドア:

推奨	
OS	Windows 10 Pro以降 ⁽¹⁾
CPU	Intel® Xeon Silver ^{3rd Gen Scalable}
メモリー	32 GB DDR5
OSドライブ	480 GB SSD
ストレージドライブ	HDD ×12 RAID 6または10 ⁽²⁾
ネットワーク	2x NIC @ 10 Gbps

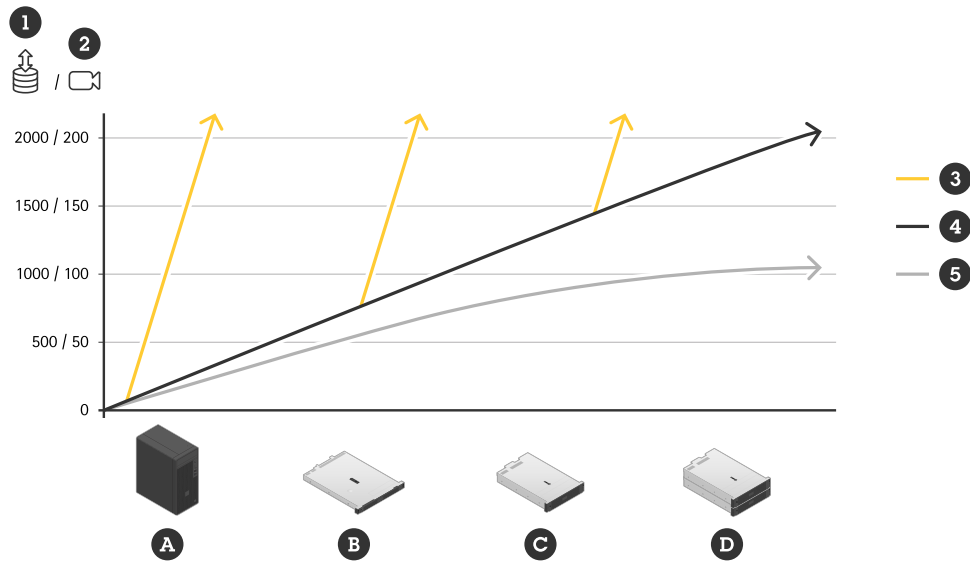
⁽¹⁾対応しているすべてのオペレーティングシステムの一覧については、リリースノートをご覧ください。Microsoftから提供されている最新のサービスパックを常にご使用することをお勧めします。

⁽²⁾最高のパフォーマンスおよび信頼性を得るには、ローカルストレージまたは高パフォーマンス NASをご使用ください。ビデオストレージには、監視クラスまたはエンタープライズクラスのドライブのみを使用してください。

サーバーの拡張性

一般に、システムを拡張するために、より強力なハードウェアを使用できます。ただし、この方法には限界があります。システムが150のビデオチャンネル数に近づいた場合、システムを複数のサーバーに分割することをお勧めします。さらに、多くのビデオオペレーターが同時に再生やスクラブを行う場合など、システムの使用量が多いと予想される場合は、チャンネル数を減らしてこの推奨事項を実行する必要があります。

サーバーあたりのデバイス数を増やしてシステムを拡張するには、ローカルディスクやNAS (ネットワークストレージ) ではなく、AXIS S30 Recorder Seriesに録画します。この方法により、サーバーの負荷が大幅に軽減され、性能の低いサーバーハードウェアでもさらに多くのビデオチャンネルを追加できるようになります。



1. 録画ビットレート
2. サーバーあたりのビデオチャンネル数
3. AXIS S30 Recordersへの録画
4. ローカルディスクへの録画
5. 多くのアクティブなオペレーターが再生しながら、ローカルディスクに録画

- A. AXIS S1216または同等品
- B. AXIS S1232または同等品
- C. AXIS S1296または同等品
- D. 複数のAXIS S1296または同等品

クライアント要件

4Kサポートと1つのモニター1台による基本的な設定:

最小	
OS	Windows 10 Pro以降 ⁽¹⁾
CPU	Intel® Core ⁷ th Gen
メモリー	8 GB DDR4
OSドライブ	128 GB SSD

ネットワーク	NIC x1 @ 1 Gbps
グラフィックスカード	Intel® HD Graphics 630

4Kサポートと1つのモニター1台による基本的な設定:

推奨	
OS	Windows 10 Pro以降 ⁽¹⁾
CPU	Intel® Core12th Gen
メモリー	8 GB DDR5デュアルチャンネル
OSドライブ	256GB SSD
ネットワーク	NIC x1 @ 1 Gbps
グラフィックスカード	Intel® UHD Graphics 730

高度設定は4Kに対応し、最大4台のモニターを使用可能:

推奨	
OS	Windows 10 Pro以降 ⁽¹⁾
CPU	Intel® Core12th Gen
メモリー	16 GB DDR5
OSドライブ	256GB SSD
ネットワーク	NIC x1 @ 1 Gbps
グラフィックスカード	Nvidia T600または同等品

⁽¹⁾対応しているすべてのオペレーティングシステムの一覧については、リリースノートをご覧ください。Microsoftから提供されている最新のサービスパックを常に使用することをお勧めします。

システム設計

計画

AXIS Site Designerを使用して、システムを計画し、プロジェクトを追跡してストレージスペース、ネットワーク帯域幅、および機器の見積もりを取得します。ネットワークビデオレコーダーのハードウェアを選択する際は、を参照してください。

専用サーバー

AXIS Camera Station Proサーバーは、データベース、Active Directoryサーバー、印刷サーバー、テレフォニーサーバーなどの重要なソフトウェアや管理ソフトウェアがない専用コンピューターで実行することをお勧めします。

オペレーティングシステムドライブ

システムドライブにSSDを使用することを強くお勧めします。また、AXIS Camera Station Pro録画用のストレージオプションとして使用するシステムドライブの使用は避けることをお勧めします。これにより、フラグメンテーションやボトルネックを回避しながら、システム全体の安定性を保ち、パフォーマンスを向上させることができます。

ストレージドライブ

最高のパフォーマンスおよび信頼性を得るには、ローカルストレージまたは高パフォーマンスNASをご使用ください。ビデオストレージには、監視クラスまたはエンタープライズクラスのドライブのみを使用してください。

ストレージRAID

ストリーム録画は運用にかなり負荷がかかります。RAIDテクノロジーを使用する場合、監視クラスまたはエンタープライズクラスのドライブと組み合わせた高性能のハードウェアRAIDコントローラーをビデオストレージに使用することをお勧めします。

ネットワークアタッチトストレージ (NAS)

AXIS Camera Station Proは、NASへの録画の保存をフルサポートしています。ただし、NASに録画を保存すると、通常、ローカルディスクを使用する場合に比べてパフォーマンスがわずかに低下します。

ネットワーク

AXIS Camera Station Proは、複数のネットワークカードと複数の異なるネットワークを使用するオプションに対応しています。これにより、AXIS Camera Station Proサーバーが分離されたネットワークへの安全なアクセスを提供し、別のネットワーク上にカメラを設置することで、より安全な環境を構築することができます。Axisには、この安全なネットワークレイアウトで設計された購入後ただちに使用可能な録画ソリューションがいくつかあります。

さまざまなクライアントタイプ

難しい制限はありませんが、接続するクライアントの数が増えると、AXIS Camera Station Proサーバーのパフォーマンスに影響します。接続されたクライアントは、クライアントが使用するストリーム数やストリームプロファイルに関わらず、それぞれCPU負荷をわずかに増加させます。AXIS Camera Station ProのWindowsクライアントは、通常、サーバーのパフォーマンスにほとんど影響を与えません。AXIS Camera Station Proモバイルアプリは、影響が非常に少ないです。ただし、AXIS Camera Station Pro WebクライアントとAXIS Camera Station Cloud Webクライアントは、Windowsクライアントと比較して、CPU使用率への影響が若干高くなります。

機能とコンポーネントの使用

AXIS Camera Station Proには「コンポーネント」と呼ばれる複数の新機能が含まれています。そのほとんどは、システムリソースへの影響が軽微ですが、スマート検索2、フリーテキスト検索、およびAxis Data Insights Dashboardは、多数のカメラと併用するとかなりのリソースを消費する場合があります。これらの機能を広範に使用の場合は、それらを使用するカメラの台数を制限するか、より処理能力の高いサーバーを選択してください。この他に、RAMの追加、CPUのアップグレード、より大容量で高速なSSDの使用などのアップグレードが有効です。

Audio Manager Pro

通常、AXIS Audio Manager ProとAXIS Camera Station Proは、同じサーバー上で問題なく動作します。ただし、最適なパフォーマンスのために、以下の場合には分離することをお勧めします。

- 同時音声ストリーム再生またはユニキャスト音声ストリームの数が多いことが予想される場合 (ハードウェアによって25~200件)。
- スマート検索2、フリーテキスト検索、またはAxis Data Insights Dashboardなど、CPU使用率が80%を超えるようなリソースを大量に使用する機能を使用する場合。
- CPU使用率が80%を超えるような、複数のカメラのライブビューや再生を同時に実行する場合。
- わずかな遅延や音声の途切れも許容されない重要な状況でAXIS Audio Manager Proを使用する場合。

ハードウェア容量

リソースが限られているハードウェア (例: AXIS S2108) では、AXIS Camera Station Proとの並行して、最大25の同時ユニキャスト音声ストリームを推奨します。

より高性能なハードウェア (例: AXIS S22 Mk II Series、AXIS S12 Series、AXIS S93 Series) では、最大200の同時ユニキャスト音声ストリームを実行できます。

ビデオ録画やライブビューを処理しないサーバー (スタンドアロンまたはAXIS Camera Station Pro内のAXIS Audio Manager Proのみを実行するサーバー) については、最大300の同時ユニキャスト音声ストリームを推奨します。

マルチキャストサポート

AXIS Audio Manager Proのゾーンでマルチキャストを使用すると、各ストリームが一度だけ送信されるため、CPU負荷が大幅に軽減されます。これにより、数百台のスピーカーに対応できます。詳しくは、Axisネットワークオーディオのネットワーク要件についてのホワイトペーパーを参照してください。

注

ネットワークはマルチキャストに対応している必要があります。AXIS S21、AXIS S22、AXIS S22 Mk II、およびAXIS S30 Series の内部ネットワークは、マルチキャストに対応しています。

非ビデオデバイス

AXIS Camera Station Proは、音声デバイス、ドアコントローラー、ネットワークスイッチ、I/Oデバイスなど、幅広い非ビデオデバイスに対応しています。これらの非ビデオ装置は、カメラのようなビデオ装置と比較して、サーバーに同程度の負荷をかけません。一般的に、システムはAXIS Camera Station Proサーバーのパフォーマンスに影響を与えることなく、より多くの非ビデオ装置を処理することができます。

仮想マシン (VM)

AXIS Camera Station Proサーバーは、仮想化されたWindowsマシン上で実行できます。詳細については、仮想環境のAXIS Camera Stationテクニカルペーパーを参照してください。AXIS Camera Station ProクライアントをVM上で実行することは、主にグラフィックの制限からサポートしていません。

電源

予期しないシャットダウンが発生すると、データベースが破損し、ハードウェアまたはWindowsにダメージがおよぶ場合があります。UPSの使用を強くお勧めします。重要度の高いシステムについては、非常用電源回路に冗長電源を追加してください。ご使用の機器で推奨されているUPSについては、機器またはUPSのメーカーにご相談ください。

システムメンテナンス

最初の週

設置後1週間はシステムを注意深く監視することをお勧めします。適切なビデオ画質であることを確認するために、関連するすべての時間の録画素材のいくつかを見直すことをお勧めします。ビデオの品質を確認する際は、ライブビューだけに頼らず、さまざまな照度や活動の多い時間帯の録画もチェックしてください。

空き容量 - オペレーティングシステムドライブ

システムドライブに50 GBの空き容量を確保することを強くお勧めします。ドライブの空き容量がなくなると、クラッシュやデータの破損の危険性が高くなります。

空き容量 - ストレージドライブ

最適なパフォーマンスを得るために、AXIS Camera Station Proのローカルストレージドライブの空き容量を5%に保つように設定することをお勧めします。5%未満に設定した場合でも、AXIS Camera Station Proは機能し、ストレージドライブが一杯になるのを防ぎますが、大規模なシステムではパフォーマンスの問題が発生する可能性があります。

整合性 - ハードドライブとファイルシステム

ディスクのエラーは、データベース、オペレーティングシステム、録画の破損を引き起こす可能性があります。ハードドライブにエラーや破損セクターがないか定期的に確認してください。Windowsでは、ファイルシステムの完全性をチェックするためにCHKDSKなどのツールが一般に提供されています。先制的なメンテナンスには多くの場合にS.M.A.R.T.監視システムを使用でき、その目的で複数の監視ツールが存在しています。

整合性 - RAM

メモリーの問題は検知とトラブルシューティングが特に難しい問題に含まれ、予測できない仕方でシステムに影響する可能性があります。RAMの整合性を定期的にチェックするようにしてください。WindowsにはメモリーにエラーがないかスキャンするMemory Diagnostics Toolがあります。多くの場合、より高度なメモリー診断ツールを使用する必要があります。

アンチウイルスとファイアウォール

ウイルススキャナーがデータベースを損傷する場合があります。AXIS Camera Station Pro、そのコンポーネント、および録画に使用するストレージドライブをスキャンから除外することをお勧めします。アンチウイルスとファイアウォールの両方がビデオデバイスからのトラフィックを変更する可能性があります。これらのデバイスからのトラフィックが自由に流れることを必ず確認してください。

アンチウイルスの除外に関する情報は、FAQ *AXIS Camera Station*のアンチウイルス許可リストに含める項目を参照してください。

ファイアウォールの除外に関する情報については、次のFAQを参照してください。

- *AXIS Secure Remote Access*へのアクセスを許可するには、ファイアウォールで何を構成する必要がありますか。
- *AXIS Camera Station*は、どのポートを使用しますか？

バックアップ

AXIS Camera Station Proは、デフォルトでシステムドライブにメインデータベースのバックアップを毎夜実行しますが、これをネットワークドライブに変更することを強く推奨します。外部バックアップやオペレーティングシステムバックアップがシステム性能に影響する場合があります。AXIS Camera Station Proでは、録画のバックアップをオンデマンドで、またはスケジュールごとに設定できます。詳細については、ユーザーマニュアルを参照してください。

システムのアップデート

Windows Updateでダウンロードやインストールが自動的に行われると、ネットワークのパフォーマンスが低下してシステムが強制的に再起動する可能性があり、これによりAXIS Camera Station Proデータベースが破損するおそれがあります。Windowsとドライバーの更新を適用および監視できるメンテナンスウィンドウをスケジュールすることをお勧めします。

スリープ、ハイバーネイト、サスペンド

絶対に、AXIS Camera Station Proが動作しているコンピューターをスリープ、ハイバネーション、サスペンドさせないでください。レコーディングが止まるだけでなく、予期しない停止により

データベースを損傷する場合があります。Windowsの電源オプションでこれらの機能をオフにしてください。

ライセンス

サードパーティ製ハードウェアサーバー用のスタンドアロンライセンス1年および5年

Axis装置用のコアサブスクリプションライセンスとサードパーティ製の装置用のユニバーサルサブスクリプションライセンス。

- 02990-001 ACS PRO CORE DEVICE 1y Lic
- 02991-001 ACS PRO CORE DEVICE 5y Lic
- 02992-001 ACS PRO UNIVERSAL DEVICE 1y Lic
- 02993-001 ACS PRO UNIVERSAL DEVICE 5y Lic

ハードウェアに関連付けられたライセンス

コアライセンスは、レコーダーの耐用期間中にハードウェアに含まれ、紐づけられています。ハードウェアに紐づけられたライセンスは、Axisハードウェアにプリロードまたは追加されます(拡張ライセンス)。これらはハードウェアの存続期間に有効であり、他のハードウェアでは使用することはできません。

サーバーにライセンスを追加する場合、CoreとUniversalの拡張ライセンスを提供しています。拡張ライセンスは、ハードウェアの耐用期間中、サーバーにも紐づけられます。

- 02994-001 ACS PRO CORE DEVICE NVR Lic
- 02995-001 ACS PRO UNIVERSAL DEVICE NVR Lic
- 02996-001 CoreをUniversal NVRライセンスにアップグレード

付属のCoreライセンスをUniversalにアップグレードする場合、当社はアップグレードライセンスを提供しています。

「耐用期間」とはどういう意味ですか？

ハードウェアの寿命とは、サーバーのマザーボードの寿命であると当社は考えます。マザーボードなどの重要なコンポーネントを交換したり、機能しなくなったりした場合、ハードウェアに紐づけられたライセンスは無効になります。

ただし、製品の保証期間中にオンサイトサポートサービスがマザーボードの交換を行った場合は例外です。このような場合、ハードウェアに紐づけられたライセンスは引き続き有効です。RMAの場合、障害のあるサーバーに紐づけられているハードウェアのライセンスは交換用ハードウェアに紐づけられているライセンスに置き換わります。

必要なライセンスの数

以下の表では、Axis装置のカテゴリ別に必要なライセンスの数の例を示しています。

製品タイプ	接続されたセンサー/アナログカメラの数	必要なライセンス
ネットワークカメラ	1つ以上	1
ネットワークレコーダー	1	1
装着式カメラ	1	1
ビデオエンコーダ	4つ以上	1
ビデオデコーダ	N/A	1
ネットワークスピーカー	N/A	1
ネットワークドアコントローラー	N/A	1

製品タイプ	接続されたセンサー/アナログカメラの数	必要なライセンス
I/Oモジュール	N/A	1 ¹
ネットワークビデオレコーダー (AXIS S30 Series)	N/A	0
装着式システムコントローラー (AXIS W8 Series)	N/A	0
ネットワークスイッチ	N/A	0

1. 一部のI/Oモジュールには、ライセンスが同梱されています。

T10207643_ja

2025-10 (M10.2)

© 2024 – 2025 Axis Communications AB